

# 成人の心停止アルゴリズム①：2015年更新

周囲の安全確認

傷病者に反応がない

- ①大声で周囲に助けを求める
- ②携帯端末（使用可能であれば）救急車に出動を要請する
- ③AEDおよび救急治療用器材を取ってくる（または誰かに依頼し、AEDおよび救急治療用器材を取ってきてもらう）

呼吸は正常、  
脈拍あり

呼吸をしていない、または死戦期呼吸のみかを見て、脈拍を確認する（同時に）脈拍は10秒以内に確実に触知できるか？

正常な呼吸なし、  
脈拍あり

EMS応答者が到着するまで注意深く観察する

人工呼吸を行う：  
5～6秒ごとに1回  
（約10～12回/分）  
・人工呼吸を続ける：  
約2分ごとに脈拍を確認する。脈拍がない場合、CPRを開始する

呼吸をしていない、または死戦期呼吸のみ、脈拍がない

どのシナリオにおいても、この時点までに救急対応AEDおよび救急治療用器材を入手しているか、

システムへの出動要請または応援要請が行われ、誰かが取りに行っている。

心肺蘇生法：CPR

- ・胸骨圧迫30回と人工呼吸2回のサイクルを開始する
- ・AEDの入手後は、ただちに使用する

AEDが到着する

リズムチェックを行う  
ショック適応のリズムか？

ショック適応

- ・ショックを1回行う。
- ・ただちにCPRを再開し、約2分間継続する
- ・ALSプロバイダーが引き継ぐまで、または傷病者が動き出すまで継続する

ショック非適応

- ・ただちにCPRを再開し、約2分間継続する
- ・ALSプロバイダーが引き継ぐまで、または傷病者が動き出すまで継続する

# 成人の心停止アルゴリズム：実際の行動

①発見・安全確認：駆け寄り「周囲の安全よし」

②反応の有無の確認：肩をたたいて「大丈夫ですか？  
大丈夫ですか？」と反応を見る

③助けを呼ぶ・指示を出す：

「倒れている人がいます、手伝ってください」

「黄色い服のあなた、119番通報をして倒れている人がいることを伝えて下さい」

「眼鏡をかけているあなた、AEDを持ってきてください」

④呼吸と脈の評価：胸が上下しているか確認しながら  
頸動脈の拍動を触知する。10秒以内。

・指2本で気管を特定する。その指を気管と胸鎖乳突筋の間にある溝に滑り込ませると頸動脈を触知できる。

・訓練を受けていない市民救助者はこのステップを行わない。

⑤胸骨圧迫と人工呼吸：

胸骨圧迫30回（100-120/分）：人工呼吸2回（1秒）

・胸骨圧迫は、胸部中央(胸骨の下半分)に片手のひらの付け根をおき、もう片手を重ねる。手の真上に肩がくる姿勢を取る。

・胸骨は5~6cm圧迫する。圧迫を行うたびに胸郭を完全に元に戻す。

・人工呼吸は、片手を傷病者の額に置き、頭部が後方に傾くように手のひらで押す。もう片方の手の指をあご下の骨にあて、あご先を持ち上げる。

・額に置いている手の指で鼻をつまみ、1秒かけて口対口で息を吹き込む。

・救急車が到着するまで、あるいは傷病者が動き出すまで継続する。

---

⑥AED到着：AED入手後はただちに使用する  
AEDの指示に従う

・電源ボタンを押す、あるいはパッドを取り出すと電源が入る。

・AEDの指示に従ってパッドを胸部に貼り、コードを接続する。この間も胸骨圧迫と人工呼吸は中断しない。

・自動で解析が始まる。「解析します。離れて下さい。」とアナウンスが流れたら胸骨圧迫を中断し、AED担当者と胸骨圧迫担当者が入れ替わる。

・「ショックが必要です。離れて下さい。」とアナウンスがあれば、傷病者に救助者が触れていないことを確認して「ショックボタン」を押す。

・ショックを与えた後は、胸骨圧迫からただちにCPRを再開する。